

第17回（2023年）日本物理学会若手奨励賞 推薦および応募のお知らせ

高エネルギー物理学研究者会議 事務局

hec-sec@jahep.org

2022年4月1日

第17回（2023年）日本物理学会若手奨励賞の公募を行います。該当者の指導教員の方々および該当者の方々は、過去3年間の原著論文の中から推薦・応募をよろしくご検討ください。提出先は下記の2022年度（令和4年度）事務局です。なお、締め切りは6月24日です。

右記の要綱に基づき、下記の要領で「第17回日本物理学会若手奨励賞」の対象候補者と論文の推薦および応募の受け付けを行います。

一 記 一

1. 推薦・応募締切

2022年6月24日（金）必着

2. 対象者および論文

2019年6月1日より2022年5月31日の間に公表された原著論文（要綱の脚注を参照）で公表時の対象者の年齢が40才未満であること。また日本物理学会会員であること。

3. 推薦・応募手続き

次頁の推薦・応募用紙（電子ファイルはhecforumで配布）に必要事項を記入し、対象論文、推薦状（推薦の場合）、論文要旨（日本語100~200字程度、又は英語250~500字程度）、必要な場合は応募者の寄与を示す書面、それぞれの電子ファイル（PDF形式）を提出のこと。対象論文は、CD、DVDまたはUSBメモリーに入れて送付するかアクセスできるURLを電子メールで提出すること。提出時には「日本物理学会若手奨励賞」への応募であることが分かるように送付物あるいは電子メールの件名に明記すること。

4. 提出先

電子メール hec-sec@jahep.org

〒319-1106 茨城県那珂郡東海村 白方 203-1
KEK 東海キャンパス 東海1号館 2F 211号室
高エネルギー物理学研究者会議事務局
電話：029-284-4831 FAX：029-284-4832

5. 発表

2022年10月頃、hecforumにて発表。

日本物理学会若手奨励賞 「素粒子実験領域」要綱

[2021年11月14日高エネルギー委員会にて高エネルギー物理学奨励賞とは独立選考とすることを承認]

高エネルギー物理学を担う優秀な若手研究者の学位取得後の研究を奨励するために本賞を設け、その研究者の優れた業績に対し本賞を授与する。

1. 対象分野は素粒子実験、但し実験に極めて重要な影響を与える近隣分野を含む。
2. 1年に1回の選考で、各回の受賞者数の上限は「日本物理学会若手奨励賞実施要項」に従う。
3. 対象は、40才未満の若手による学位取得後の業績で、対象者の寄与が本質的であり、過去3年以内^{脚注}に学術雑誌に掲載された論文とする。諸般の事情により研究その他物理分野における活動の空白期間があれば、その年月は年齢制限に対して考慮するものとする。
4. 対象者は日本物理学会かつ高エネルギー物理学研究者会議会員であること。応募は対象者本人、または高エネルギー物理学研究者会議会員の推薦によるものとする。
5. 共同実験に基づく論文では対象者の寄与が本質であることを示す、実験責任者または解析グループの責任者の書面が必要。
6. 選考委員は、高エネルギー委員会で選出し、高エネルギー関係者3名、理論関係者、宇宙線関係者、加速器関係者、各1名とする。ただし、高エネルギー委員会の判断で、必要に応じて委員を加えることができるものとする。
7. 締め切りは6月末、選考は7月~9月の間に行い、10月頃に発表する。日本物理学会若手奨励賞実施要項に従い、受賞者は受賞記念講演を行う。

^{脚注} 募集時の西暦をyとしたとき、(y-3)年6月1日からy年5月31日の間。

日本物理学会若手奨励賞 推薦・応募用紙

対象者

氏名 _____

所属 _____

(発表時と現在の所属が変わっている場合はその点も明記すること)

現在の連絡先

住所 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

日本物理学会会員番号 _____

生年月日 _____

【該当者のみ】研究空白期間とその理由 _____

対象論文(原著論文)

題名

英語 : _____

日本語 (全角 40 字以内): _____

原著論文情報

雑誌名, 巻号, ページ _____

公表日 _____

対象者の寄与 (著者が複数の論文の場合は対象者和其他の著者の寄与の区別を明らかにし、対象者の寄与をできるだけ明確に書いてください。)